

2 個別事業評価調書

団体名:南丹市

事業名	南丹市地域情報基盤整備事業					
事業の概要	合併により広大な面積を有する本市は、新市の市民相互の交流や市外の人々との交流を促進するため、新市の主要プロジェクトとして地域情報通信基盤整備を位置づけ、平成18年度から実施してきた。 今年度においては、日吉地区の公共施設や集合住宅等の引込工事を実施し、日吉地区全域でサービスを提供していった。また、ハード整備とは別にソフト部門の充実を図るため、CATV放送番組の充実、インターネット利用促進等を業務委託し実施した。					
	目標時期	平成19年度				
	総事業費	44,754千円	本年度事業費	44,754千円	交付金交付額	5,318千円
事業の必要性	ケーブルテレビやインターネットサービスを提供することで、都市部との情報格差是正及びデジタル放送への対応を行う必要がある。また充実したコミュニティ放送を実施することで、行政情報のスムーズな伝達を図るとともに、地域のコミュニティの推進を図る必要がある。					
事業の有効性	本事業を実施することで、ケーブルテレビやインターネットサービスを提供することが可能となり、都市部との情報格差是正及びデジタル放送への対応を行うことができた。また充実したコミュニティ放送を実施することで、行政情報のスムーズな伝達を図るとともに、地域のコミュニティの推進を図ることができた。					
事業の効率性	本事業を実施することで、ケーブルテレビやインターネットサービスを提供することが可能となり、都市部に出向かなくても効率的な情報の受発信が行えた。また、ホームページでコミュニティ放送を実施することで、行政情報等の効率的な受発信が行えた。					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
	2 住民の自治意識を高める成果					
	3 リーディング・モデル成果					
	合併により今までとは交流のない地域についても、コミュニティ放送やホームページを通じて知ることができるようになり、地域への関心を高めるとともに、新しい市の一体化に効果があった。					
	4 広域的波及成果					
	5 行財政改革に資する成果					
具体的な成果	6 その他の成果					
	民間サービスがない地域にも高速インターネットサービスを提供することが可能となった。また、テレビのデジタル対応を行うことができた。					